

## はじめに

「AWS 認定 Alexa スキルビルダー - 専門知識 (AXS-C01)」試験は、Alexa スキル開発者ロールの人を対象としており、Amazon Alexa スキルの作成、テスト、公開、および認定についての理解度を評価するものです。

この試験で評価する能力は次のとおりです。

- 音声の有用性について説明する。
- ユーザーエクスペリエンスをデザインする。
- スキルを構成するアーキテクチャを設計する。
- スキルに対する AWS および Alexa のセキュリティベストプラクティスに従う。
- スキルを開発、テスト、検証、トラブルシューティングする。
- スキル公開プロセスを管理し、Alexa 開発者コンソールを使用する。
- スキルの運用とライフサイクルを管理する。

### 推奨される Amazon および AWS の知識

- Alexa Skills Kit と AWS のクラウドサービスを使用して、Alexa スキルを作成した 6 か月以上の実務経験がある。
- プログラミング言語に習熟している。
- Alexa スキルを公開した経験がある。

注：Alexa スキル開発者—専門知識 (AXS-C01) 試験は、米国および英国で一般的に利用可能な Alexa のサービスや機能を 6 か月以上使用したことのある受験者のコンピテンシーをテストするものです。米国および英国以外の国の受験者は、米国および英国で利用可能なサービスや機能について理解しておく必要があります。

## 試験内容

### 回答タイプ

試験の質問には以下の 2 種類があります。

- **択一選択問題**：選択肢には 1 つの正解と 3 つの不正解（誤答）があります。
- **複数選択問題**：5 つ以上の選択肢の中に 2 つ以上の正解があります。

文章に最もよく当てはまるもの、または質問の回答となるものを 1 つ以上選択します。不正解の選択肢は、知識やスキルが不十分な受験者が間違えやすいもので構成されています。多くの場合、試験の目的に応じた出題分野に当てはまる、もっともらしい回答になっています。

回答しなかった場合は不正解とされるため、推測でも答える方が有利です。

### 採点対象外の内容

試験には、採点の対象にはならない項目が含まれる場合があります。これは統計的な情報を集めるために試験に組み込まれています。フォーム上でこれらの項目を区別することはできませんが、スコアに影響を与えることはありません。

### 試験の結果

「AWS 認定 Alexa スキルビルダー – 専門知識 (AXS-C01)」試験の結果は、合格または不合格のいずれかになります。試験は、認定業界のベストプラクティスとガイドラインに従って、Amazon Alexa プロフェッショナルにより設定された最低基準に達しているかどうかに応じて採点されます。

試験結果は 100 ~ 1,000 点の範囲のスコアでレポートされます。最低合格スコアは 750 点です。スコアによって、試験での全体的な成績と合格がわかります。スケールドスコアモデルは、難易度にわずかな違いのある複数の試験形式のスコアを平均化するために使用されます。

スコアレポートには各セクションレベルでの成績の等級表が掲載されています。この情報は、試験成績に関する全体的なフィードバックを提供することを目的として設計されています。試験では補填形式のスコアモデルが使用されるため、個別のセクションごとに「合格」する必要はなく、試験全体で合格することのみが求められます。試験の各セクションには特定の重み付けがされているため、一部のセクションでは質問数が他のセクションよりも多くなっています。表には、長所と弱点を示す総合的な情報が含まれています。セクションレベルのフィードバックは慎重に解釈するようにしてください。

### 試験内容の概要

この試験ガイドには、重み付け、出題分野、および試験の目的のみが記載されています。試験の出題内容全体を記載しているわけではありません。出題分野と比重を以下の表に示します。

分野	試験における重み付け
分野 1: 音声ファーストのデザイン手法および機能	14%
分野 2: スキルデザイン	24%
分野 3: スキルアーキテクチャ	14%
分野 4: スキル作成	20%
分野 5: テスト、検証、トラブルシューティング	18%
分野 6: 公開、運用、およびライフサイクル管理	10%
合計	100%

#### 分野 1: 音声ファーストのデザイン手法および機能

- 1.1 ユーザーがスキルと対話する方法について説明する。
- 1.2 機能と能力をユースケースに対応付ける。

#### 分野 2: スキルデザイン

- 2.1 対話モデルをデザインおよび作成する。
- 2.2 マルチターン対話をデザインする。
- 2.3 ビルトインインテントおよびビルトインスロットタイプを使用する。
- 2.4 対話内における想定外のリクエストおよび応答を処理する。
- 2.5 1 個以上のサービスインターフェイス（例：音声、動画、ガジェット）を使用するマルチモーダルスキルをデザインする。

#### 分野 3: スキルアーキテクチャ

- 3.1 Alexa スキルの機能を拡張するための AWS サービス（Amazon CloudFront、Amazon S3、Amazon CloudWatch、および Amazon DynamoDB）を識別する。
- 3.2 AWS Lambda を使用して Alexa スキルを作成する。
- 3.3 AWS および Alexa のセキュリティベストプラクティスおよびプライバシーベストプラクティスに従う。

#### 分野 4: スキル作成

- 4.1 スキル内課金および Alexa スキル向け Amazon Pay を実装する。
- 4.2 表現制御および MP3 音声再生のため、音声マークアップ言語（SSML）を使用する。
- 4.3 ステータス管理を実装する。
- 4.4 Alexa サービスインターフェイス（オーディオプレイヤー、ビデオプレイヤー、画面）を実装する。
- 4.5 Alexa JSON リクエストを解析し、応答を返す。

#### 分野 5: テスト、検証、トラブルシューティング

- 5.1 Amazon CloudWatch などのツールを使用して、デバッグおよびトラブルシューティングする。
- 5.2 Alexa 開発者用テストツールを使用する。
- 5.3 ベータテストを実行する。
- 5.4 対話モデル内のエラーをトラブルシューティングする。

## 分野 6: 公開、運用、およびライフサイクル管理

- 6.1 スキル公開プロセスについて説明する。
- 6.2 開発者コンソールでユーザーを追加および削除する。
- 6.3 開発者コンソールでスキルを分析する。
- 6.4 スキルの各ステータス/バージョン（例：開発中、審査中、公開中）の違いについて説明する。